



第25号
発行 令和4年
牛田学区社会福祉協議会
発行責任者 木原政弘
電話&FAX 082-227-1952
E-Mail usitasykyou
@skymetax@gmail.jp

心ときめく学校

牛田小学校 校長 花岡 潔

8月6日の登校日、先生方が夏季休業中の研修で制作した「平和」をテーマにした作品が、子どもたちを迎えました。その後、各教室で平和記念式典の様子を視聴し平和の尊さを心に刻み、全校の子どもたちで平和の歌「言伝」を歌いました。夕方には、平和集会で子どもたちが作成した「灯ろう」を原爆ドーム前の元安川へと流しました。流れていく一つ一つの「灯ろう」を見ながら、子どもたちの平和への想いがずっと続くことを願いました。

本校では、子どもたちが未来の社会でいきいきと活躍できるよう「考えて行動する力」「創り出す力」「仲間とつながる力」の育成を目指し教育活動に取り組んでいます。教科担任制や縦割り活動を通して、子どもたちが意欲的に学び、仲間と深く関わりながら成長できるよう支援しています。また、安心して学校生活を送れるよう、ホテルのように整えられた校内環境づくりや、相談体制の充実にも力を注いでいます。さらに、ICT教育の推進により、子どもたちの主体的な学びを支えるとともに、地域と連携した体験活動の充実や、教職員の研修にも力を入れ、「心ときめく学校」の実現を目指して日々取り組んでいます。

昨年度、創立150周年という大きな節目を迎えました。地域やPTAの皆さまの温かいご支援のもと、記念式典をはじめ、記念イベント、ランプの灯展、記念動画の制作など、数々の催しを盛大に開催することができました。

これらの記念行事では、地域の皆さまに支えられてきた150年の歩みに感謝を込めて、子どもたちは表現活動に取り組みました。子どもたちの凜とした姿に、「感動した」とのお言葉を頂戴し、地域との絆の大切さを改めて実感するかけがえのない機会となりました。

これからも、地域とともに歩む学校として、「心ときめく学び」を子どもたちとともに積み重ねてまいります。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



「社協だより うした」復刊に寄せて

牛田学区社会福祉協議会 会長 木原政弘

令和2年に始まった「新型コロナ禍」もようやく落ち着き、地域行事も再開され、今年は六年振りに「牛田ほおずき祭り」が、多くの方々のご尽力により夏のにぎやかな祭りとして復活しました。夏の異常気象は例外ではなく、特に今年の酷暑は「熱中症アラート」が連日続き、日中の活動困難さや寝苦しい夜など、体調管理に御苦労されているのではないのでしょうか。

令和2年3月発行「社協だより うした・第24号」を最後に、休刊していました社協広報誌が、比治山大学現代文学部マスコミュニケーション学科・林ゼミの先生・学生の皆様のご協力により、季刊誌として復活することができました。

今後は牛田学区のまちづくりや行事の様子など、多くの情報をお届けできればと思います。

防災訓練・防災フェア 10月5・6日 牛田小学校 主催・牛田学区自主防災会協議会



主な行事
令和6年度



秋晴れの中行われた防災訓練・防災フェアには多くの方が参加されました。防災フェアでは防災への関心や意識を高めるような消火器体験など体験コーナーで、楽しく防災を学ぶことができました。体育館では防災講演会、救命研修会、防災キャンプを実施。防災工作、ロープワーク、非常食体験、テント・ベッソ設営体験で避難所での一泊体験が行われました。

早稲田神社秋季例大祭お神輿 10月20日

主催 早稲田神社・各町内実行委員会



大勢の参加者が町内を巡行し、町中に「わっしょい! わっしょい!」の音が響き渡り、一体感のある行事でした。歩きながら町中に元気をお届け。最後に早稲田神社に参拝。坂を最後まで上って達成感を味わいました。

牛田中学校合唱祭 10月25日

牛田中学校



中学校で行われた合唱祭では、3学年クラスごとで合唱を披露しました。各クラスで一生懸命練習した成果を参加者の前で歌い上げます。緊張感が漂う会場は立ち見が出るほどの満員。歌った後には大きな拍手に包まれました。

牛田小学校運動会 10月26日 牛田小学校



小学生たちはリレーや組体操など、練習の成果を活かしながら様々な競技を行いました。元気いっぱいの姿を温かく見守っている多くの保護者の皆さん。学年が上がるごとに大きくなる姿に「子供たちの成長した姿に感動した」という声も。

3世代交流ペタンク大会 11月3日 牛田小学校



子どもから年配の方まで3世代が1チームになって行われました。気持ちのいい青空の下で大盛り上がり！初めてペタンクをする人も試合をするごとにコツを掴み、どのチームも優勝目指して白熱した勝負を繰り広げました。



牛田フェスタ 11月23・24日 牛田小学校 主催・牛田フェスタ実行委員会



〔牛田小学校合唱部〕



〔和太鼓（牛田成年会太鼓組）〕



〔比治山大学 神楽部〕



〔子供広場の様子〕



〔牛田中学校吹奏学部〕

牛田フェスタでは地域の人々のステージ発表、グラウンドでの出店など子供たちのために様々なプログラムが実施されました。ステージ発表ではダンスや合唱、吹奏楽など自分たちが日々練習している成果を生き生きと発表。会場である体育館が満員になり、大きな拍手で包まれました。各グループのチームワークが発揮されていました。「楽しかった」「来年も参加したい」という声も。町が1つになる素敵なフェスタでした。

親子マラソン 令和7年2月25日 主催・牛田連合成年会



幼児から大人までが部門ごとに分かれて参加する親子マラソン。

「○○パパがんばれー!」「○○ちゃんががんばれ!」と応援の声が飛んでいました。

スタート位置に付く前に円陣を組んでやる気マックスな様子も見られました。

牛田学区ウォークラリー 3月9日 主催・牛田学区体育協会



快晴の空の下、23回目のウォークラリーが開催されました。たくさんの方が集まり、51チームに分かれて順番に出発。帰ってきたあとの感想では「難しい問題もあったけどそこが楽しい!」という声や、「去年読めなかった地図が一人で読めるようになった」などの声があり、自分の成長を感じられる機会にもなっているようです。大会を通じて地域を知ることができました。

～林ゼミ1期生さいごのご挨拶～

令和6年度の取材は、私たち林ゼミナール1期生は6名が担当しました。私たちは、令和6年9月に木原会長と打ち合わせを行い、10月の防災訓練・防災フェアから取材を開始しました。半年間の活動で様々なイベントに参加し、取材を行わせて頂く中で「地域の力」を実感しました。いつも快く取材に応じて下さり、やりがいを感じながら楽しく活動ができました。令和7年度は林ゼミナール2期生が活動を継続します。ご協力を宜しくお願い致します。最後になりましたが、半年間ありがとうございました。



1期生の皆さん
ありがとう!





得点競技

- 2.玉入れ
- 4.みんなでジャンプ
- 6.綱引き
- 8.男女リレー

4月27日、第61回牛田学区町民運動会が行われました！地域の8チームが対抗し、自由参加種目4種・得点種目が4種の計8種目が行われ、そのほかにじゃんけん大会や演奏が行われました。私たち比治山大学3年生はその運動会に地域の方へ取材をさせていただきました。その中からピックアップしてお伝えしていきます！

自由参加競技

- 1.障害物競走
- 3.徒競走
- 5.パン食い競争
- 7.かけっこ

パン食い競争

小中学生計350名が出場しました。子供たちがパンに向かって一生懸命に走っていく姿がとてもハツラツとしていて見ているこちらまでも元気をもらえました！パン食い競争に出ていた小学2年生の男の子がインタビューに答えてくれました。「楽しかった、パンがおいしかった」と語っていただきました。すごくかわいい感想で、思わず笑みがこぼれました！



玉入れ

小学生10名・50歳以上の参加者10名で行われ、得点種目ですが和気あいあいとした雰囲気にも包まれていました。その中でコソと掴み一回で球を大量に投げるという作戦を行っていました。

56年間牛田在住の米寿の女性にインタビューさせていただきました。

運動会には第5回から3世代で参加されているそうです。昔のお話を聞けて興味深かったです。



障害物競走

ちびっこから若い人たちが綱をくぐったり、飛び越えたり、平均台に乗ったりなど、ドタバタな展開になっていました。みんな笑顔で楽しそうでした。障害物リレーに出ていた本町Aの男の子は「楽しかった！！来年も出たい」と言っていました。



男女リレー

毎年盛り上がる男女リレー。抜かれては抜いての熱い戦いが繰り広げられていました。一位になったのは牛田旭。アンカーで走っていたお父さんは「地域の力を感じることができました」と興奮気味に語ってくれました。男女リレーは間違いなく手に汗を握る名勝負でした。

優勝したチームは本町Bでした。2位の牛田旭との差は12点差とかなりの接戦でした。優勝した本町Bにインタビューしてきました。「来年はもっと点を取ってもう一回優勝したいです」と来年への意気込みを語ってくれました。昨年優勝した牛田南は惜しくも優勝とまではいきませんでしたが応援特別賞をもらっていました。皆さんお疲れさまでした☆



5月17日、第34回牛田公民館ふるさとまつり取材させていただきました。地域の温かさや、まつりに向けた皆さんの努力の集大成を肌で感じました。何より、好きなことに夢中で取り組む姿に牛田町が多くの人に愛されている理由がよくわかりました。今回は、いずみの会、牛田絵手紙グループ、牛田青葉句会、手話劇の四つを取材しました。

【いずみの会】

初回から参加されている、「いずみの会」さんが展示されている生け花。使用されている花は季節に合わせて選ばれており、見るだけで季節の移ろいを感じられます。さらに、作品の中に取り入れられていた流木。これは、実際に川に出かけて拾ってきたもので、流木が花と組み合わせることで、どこか野趣あふれる力強さが加わり、作品に深みが増していました。



「生け花」
泉の会

【牛田絵手紙グループ】

牛田絵手紙グループの絵手紙ははがきサイズの紙に、身近な風景や野菜、花などを描いた温かみのある作品ばかり。1枚を約10分ほどで仕上げるそうですが、色づかいがとても多彩で、思わず見入ってしまいます。「あまり考えすぎず、気持ちを込めて描くのが大切」と教えていただきました。



「絵手紙」
牛田絵手紙
グループ

生け花も絵手紙も、共通しているのは「レイアウト」や「色の使い方」に悩みながらも楽しみながら取り組んでおられること。「作品を考えている時間がとても楽しく、生きがいになっています」と話されていたのが、とても印象的でした。

【牛田青葉句会】

今回、牛田青葉句会という平成2年に設立された、伝統ある句会を代表の高山岩雄さんを筆頭に取材させていただきました。

俳句雑誌「夕風」



この句会の特徴は五・七・五の形の現代俳句や写真と俳句を組み合わせた写真俳句を主に作っているそうです。写真俳句というものを私は初めて知り、作り方のコツをお伺いしました。写真の中身をそのまま言葉にしないことが大切だそうです。また、自分なりの解釈でいいとのこと。見た人の捉え方で解釈が変わってくるのがとても面白いところであり、それが写真俳句の醍醐味なのです。

俳句を長い年月やっている中で自分の最高傑作の俳句はあるのかを代表の高山さんにお伺いしました。高山さんは自分の中で最高傑作、また完成した俳句はないそうです。「完成に至った時、それは死である。つまりゴールは死だから、断捨離までやめられない」とおっしゃっていました。「ゴールは死である」という高山さんの言葉に私は衝撃を受けました。「現状に満足してはいけない、死ぬまで上を目指しなさい」と私の解釈ですがそう投げかけられているように感じました。

牛田青葉句会に所属する
方々が書いた俳句



どのグループの方々も快く答えてくださいました。活動日につきましては公民館(TEL:082-227-0706)までお問い合わせください。

【手話劇】

手話サークル「ほおずき」による手話劇は多くの来場者の心をあたたく包み込みました。「手話をラフに伝えたい」をモットーに活動しており、手話を特別なものとして構えるのではなく、もっと気軽に、もっと自然に使えるようにという思いを大切にしています。活動を始めたきっかけは「見る力を養いたい」「目の訓練をしたい」といった、ひよんなことから始めたそうです。

劇中では出演者一人一人の動きが丁寧で、表情からも豊かな気持ちが伝わってきました。ただ情報を伝えるだけではなく、「伝えることの楽しさ」を感じられる演出が印象的でした。

また、手話に対しては「音訳をうまく切り替える」ことを大切にしているとのこと、聞こえる人と聞こえない人、双方にわかりやすい伝え方を意識していることが伺えました。

代表は「これからは広島市内でも手話をもっと広めていきたい」と話し、多くの人に手話の魅力を届けていきたいと語ってくれました。



～林ゼミ2期生はじめの挨拶～

皆さん、はじめまして。私たちは比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科林ゼミナールの新3年生です。令和6年度に活動していた先輩方に引き続き、ゼミナール活動として、令和7年度の「社協だよりうした」の発行をお手伝いさせていただきます。これらか地区で行われるイベントに参加させていただきます！インタビューや写真撮影を実施いたします。今後もお会いする機会がございましたら、ぜひご協力の程お願いいたします。

自己紹介を兼ねて、以下にゼミ生5名の一言コメントを掲載します。

「学びを深めながら、地域に寄り添った広報誌づくりを目指します！」 益原一樹(ますはら かずき)

「牛田の町が盛り上がるような広報誌を作ります!!」 安光栞汰(やすみつ かんた)

「広報活動で牛田のことをもっと知っていきたいです」 岡光賢史朗(おかみつ けんしろう)

「牛田に貢献できるように頑張っていきます」 井形隼太郎(いがた しゅんたろう)

「牛田地区の広報活動ができて嬉しいです。この牛田地区に多くの人に来てもらえるように、広報活動を頑張っていきたいです。よろしくお願いします」 鶴田基起(つるた もとき)



牛田社協では、「賛助会員」を募集しています！

牛田学区社会福祉協議会では、安全・安心な牛田学区の地域環境を確保するため、各種助成制度などを活用して、地域防犯カメラ(2015年～2020年11基)を設置しています。

初期に設置した防犯カメラは設置後10年を経過しており、機器の更新が必要となっており、カメラ稼働するためには、年間を通じて「保守点検料・電気代」で10万円余の経費負担が必要となっています。

安全安心な地域環境を守るために「賛助会員」にご協力を賜りますよう、お願いします。

《賛助会員》

個人会員 一口 1,000円

団体・企業会員 一口 5,000円

令和7年度(2025年度)10月～令和8年3月行事予定



実施月日	行事名称	実施団体等	実施会場
10月5日(日)	第26回グラウンドゴルフ大会	牛田学区体育協会	牛田小学校
10月12日(日)	牛田学区防災訓練・防災フェア	牛田学区自主防災会協議会・社協	牛田小学校
10月18・19日	早稲田神社秋季列大祭(神輿巡行)	早稲田神社・各町内実行委員会	早稲田神社,各町内
10月23日(休)	牛田中学校合唱祭	牛田中学校	上野学園ホール
10月25日(土)	牛田小学校運動会	牛田小学校	牛田小学校
11月3日(月・文化の日)	三世代交流室内モルック大会	牛田学区青少年健全育成連絡協議会	牛田小学校
11月23日(日)	第12回牛田山ぐるっとハイキング	東区役所・牛田学区体育協会他	新牛田公園・牛田山コース
11月24日(月・休)	第18回牛田マラソンソフトボール大会	牛田学区体育協会・連合成年会	牛田中学校
11月27日(木)	牛田社協11月理事会	牛田学区社会福祉協議会	牛田集会所
12月21日(日)	三世代交流餅つき大会	牛田学区体育協会ほか	牛田小学校
12月28日(日)～	年末警戒パトロール	牛田防犯連絡協議会・自主防災会協議会	牛田学区内
1月4日(日)	新年互礼会	牛田学区社会福祉協議会	牛田集会所
1月14日(水)	とんど祭	早稲田神社	早稲田神社
1月22日(木)	牛田社協1月理事会	牛田学区社会福祉協議会	牛田集会所
2月22日(日)	牛田親子マラソン大会	牛田連合成年会	新牛田公園・バラ苑
3月1日(日)	第24回牛田町民ウォークラリー大会	牛田学区体育協会	牛田学校～学区内
3月6日(金)	牛田中学校卒業証受与式	牛田中学校	牛田中学校
3月19日(木)	牛田小学校卒業証書授与式	牛田小学校	牛田小学校

※毎月第2土曜日午前中「牛田小学校で遊ぼう」

牛田社協・子ども福祉教育部会 牛田小学校

※毎月第4火曜日午前中「牛田困りごと相談会」

牛田・東区社協・包括支援センターなど 牛田集会所

【編集後記】

5年半ぶりに「社協だよりうした第25号」をお届けします
比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科・林ゼミの林先生と学生の皆様にご協力いただき、昨年秋から、行事特集号を二回発行し、今回ようやく、復活の定期発行・第25号となりました。

今後は、牛田社協構成団体の皆様にもご協力いただき、地域の皆様に多くの情報提供をできるよう、季刊発行となれと思っています。

ご意見・投稿・お問い合わせは、牛田社協事務局(牛田集会所1階)へお願いします。

電話 FAX 227-1952
(平日午前中)